

お知らせ

INFORMATION

No.2013-25
2013 年 8 月
病体生理研究所

『2013 年度・検査案内書』変更内容一覧のご案内

拝啓 平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

さて、既にお届けしております『2013 年度版・検査案内』の掲載事項のうち、2012 年 4 月以降に変更となりました、検査方法・基準値変更などの内容を取りまとめましたのでご案内いたします。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【対象印刷物】

- ◆ 『2013 年度・検査案内書』

【掲載内容】

- ◆ 変更内容一覧

以上

2013年度版検査案内変更一覧

※単位表記について、すべての筆記体ℓを大文字Lに変更

頁	コード	検査項目	変更箇所	新	旧
1	10004	総蛋白(TP)	検査方法	ビューレット(2試薬)法	ビューレット法
1	10005	アルブミン(ALB)	検査方法	BCP改良法	BCG法
1	12406	尿中マイクロアルブミン		一部尿コード追加	
1	10017	A/G比	検査方法	ALB:BCP改良法	ALB:BCG法
2	15272	ミトコンドリアAST(GOT)	単位	IU/L	U/ℓ・37℃
2	[10006] AST(GOT) [10007] ALT(GPT)	単位		U/L	IU/ℓ・37℃
2	[10008] LD(LDH) [10009] AL-P				
2	[10033] γ-GT(γ-GTP) [10028] CP(CPK)				
2	[10027] コリンエステラーゼ				
2	[10014] LAP [10254] 血清リパーゼ	単位		U/L	U/ℓ・37℃
3	[10253] 尿中リパーゼ [10030] 尿中アミラーゼ				
3	[10029] 血清アミラーゼ	単位		U/L	IU/ℓ・37℃
3	[10026] T-ACP [10144] P-ACP	単位		IU/L	IU/ℓ・37℃
5		備考欄 日本動脈硬化学会		(2012年版)「動脈硬化性疾患予防ガイドライン」	(2002年版)「高脂血症治療ガイドライン」
5	13054	リボ蛋白(a)	保存	凍結不可表示をとる	凍結不可
6		欄外注①動脈硬化学会ガイドライン	欄外	2012年度版に差し替え	
8	15094	総ホモシステイン	日数	5~7	5~8
9		e-GFR基準値	備考	60.0	60
9		欄外 保険点数注意を挿入	欄外	3か月に1回に限り算定する。ただし、医学的な必要からそれ以上算定する場合には、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。	
9		欄外 高尿酸血症・痛風治療ガイドライン 第2版	欄外	高尿酸血症・痛風治療ガイドライン 2010年版に差し替え	
10	10236	ビタミンB1	検体	EDTA2Na血液遮光絶凍	ヘパリン血液遮光絶凍
			容器	11→7	12
			基準値	2.6~5.8 μg/dL	2.0~7.2 μg/dL
10	11287	ビタミンB2	検体	EDTA2Na血液遮光絶凍	ヘパリン血液遮光絶凍
			容器	11→7	12
			基準値	12.8~27.6 μg/dL	11.9~20.4 μg/dL
11	10520	HbA1c	検査方法	酵素法	LA法
15	11851	亜鉛	容器	61	61→31
			保存	冷蔵の下に(21日)の文字を入れる	
19	11800	フェノバルビタール	検査方法	EMIT	EIA
19	11801	フェニトイン	検査方法	EMIT	EIA
19	11802	カルバマゼピン	検査方法	EMIT	EIA
19	11804	パルプロ酸ナトリウム	検査方法	EMIT	EIA
19	11806	クロナゼパム	保存	冷蔵	絶凍
19	11807	ジアゼパム	保存	冷蔵	絶凍
21	13877	アルベカシン	必要量	0.4	0.3
			検査方法	ラテックス凝集比濁法	FPIA
21	15075	テイコプラニン	必要量	0.4	0.3
			検査方法	ラテックス凝集比濁法	FPIA
			基準値	(メーカー参考値)を削除	メーカー参考値
21	11809	テオフィリン	検査方法	EMIT	EIA
21	12255	シクロスポリン	日数	4~5	4~6
21	14415	タクロリムス			
23	10247	HGH	保存	冷蔵(21日)	
			検査方法	ECLIA	RIA固相法
			基準値	M 2.47以下	M 0.17以下
				F 0.13~9.88	F 0.28~1.64
24		ソマトメジンC(年齢別基準値)		新基準値に差し替え	

頁	コード	検査項目	変更箇所	新	旧
35	11410	トリプシン	検査方法 基準値	ELISA 100～550	RIA2抗体法 110～460
38	12143	NSE	備考 保存	注意書き追加 注①採血後1時間以内に血清分離し、冷蔵保存してください。溶血検体は避けてください。(溶血の場合、赤血球からNSEが逸脱して高値になります。) 凍結不可を入れる	冷蔵
38	13106	サイトケラチン19フラグメント(シフラ)	検査項目 備考	(CYFRA)を挿入 コメント修正。「検体の激しい混和・攪拌により低値傾向を示す場合がありますので検体の取り扱いにはご注意ください。」	
38	17350	Pro-GRP	単位	(参考値)を削除	
40	14760	INTACT-PINP	基準値	閉経後27.0～109.3	閉経後7.0～109.3
42		腫瘍関連検査(その他)のページに差し替え 胃癌HER2タンパク 肺癌ALK遺伝子		42ページにホルモンレセプターとともに新規掲載	
43		腫瘍関連ページを2ページ増やし、以降、2ページずつズレ		腫瘍マーカーの説明文、悪性腫瘍特異物質治療管理料の表を掲載	
46		抗核抗体の染色パターン表		6)抗細胞質抗体の欄を追加	
47	12253	抗CCP抗体	検査方法 備考	CLEIA 注①不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けて下さい。の文を追加	ELISA
47	10379	抗DNA抗体	検査方法	RIA硫酸塩基法	RIA硫酸法
48	12702	抗ミトコンドリアM2抗体	検査方法 基準値 備考	CLEIA 7.0未満 注③不活化(非動化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けて下さい。の文を追加	ELISA 7未満
48	13855	PR3-ANCA	検査方法 日数	CLEIA 2～3	ELISA 2～4
48	13856	MPO-ANCA	検査方法 基準値 日数	CLEIA 3.5未満 2～3	ELISA 9.0未満 2～4
49	10359	免疫複合体(IC)	日数	4～6	4～10
49	10636	抗GBM抗体	検査方法 基準値	CLEIA 3.0未満 U/mL	ELISA (-)10未満 (+-)10～20 (+)20以上
50	17351	MAST33	日数	3～4 B	5～7 S
54	17053	HBV DNA定量(TaqManPCR)	日数	2～5 B	5～7 S
55	13302	HCV抗原	日数	3～5	2～3
57	15256	百日咳抗体(EIA)	基準値	PT抗体IgG 10未満 FHA抗体IgG 10未満	PT抗体IgG FHA抗体IgG
57	13134	破傷風抗体	基準値	0.50以上	0.15以上
57	17069	プロカルシトニン	委託先	M	S
59	15080 15054 17419	淋菌核酸増幅同定(淋菌DNA PCR)	検査方法 容器 検体量 備考	リアルタイムPCR 子宮頸管 No.62 男子初尿No.63 検体量5ml うがい液No.63 検体量5ml 注①「採取方法は60ページ参照」	PCR 子宮頸管 No.43 男子初尿 No.41 未設定 注②の文中、「採取方法は下記参照」
59	12081 12077 17420	クラミジアトラコマチス核酸増幅同定(クラミジアトラコマチスDNA PCR)	検査方法 容器 検体量 備考	リアルタイムPCR 子宮頸管 No.62 男子初尿No.63 検体量5ml うがい液No.63 検体量5ml 注②「採取方法は60ページ参照」	PCR 子宮頸管 No.43 男子初尿 No.41 未設定 注②の文中、「採取方法は下記参照」
61	10329	日本脳炎(CF)	日数	5～7	4～12
65		サイトメガロIgG,IgM	実施料	230点に修正	220点

頁	コード	検査項目	変更箇所	新	旧
66		欄外保険請求説明③の説明文の挿入「ノロウイルス抗原定性は、3歳未満の患者、65歳以上の患者、悪性腫瘍の診断が確定している患者、臓器移植後の患者、抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤、または免疫抑制効果のある薬剤を投与中の患者について当該ウイルスの感染症が疑われる場合のみ算定する。」			
74		G-BAND 対象疾患名	欄外	MPN	MPDS
77	60200	血液像	検査方法	鏡検法	目視法
			実施料	15又は25	15
78		赤血球 赤芽球所見 備考欄注②	備考	EBL→EB→Eに修正 例:125の場合 E125/100を挿入	
79	60044	活性化部分トロンボプラスチン時間	基準値	小数点第1位まで表示	整数表示
82	60601	尿中蛋白	検査項目	尿蛋白	尿中蛋白
82	60616	ベンス・ジョーンズ蛋白定性	保存	冷蔵	
83	60690	赤痢アメーバ	実施料	50	40
84	60661 60701	蛋白定量	備考	※生化学包括項目の説明文を挿入	
85		ヘリコバクターピロリ	欄外	3 保険点数注意書き挿入	
86		薬剤感受性試験基本セット	緑膿菌	CAZ	CFS
86		感受性薬剤名一覧		CFS セフスロジン 削除	
86		欄外注意書き追加		MDRP, MDRA, ESBL産生菌検出時は、コメントにて報告しております。	
95		ヒスタミン	検体取扱い法	採血後20分以内に4～10℃、900×gで10分間遠心。血漿の上部を絶凍試験管に移し、凍結してください。絶凍	冷却遠心し、血漿を絶凍用試験管に移し、凍結してください。絶凍
95		単純ヘルペスDNA	検体必要量	血液	血漿
			検体取扱い法	転倒混和後、そのまま冷蔵してください。冷蔵	血漿分離し血漿を冷蔵用試験管に移し、ご提出ください。